

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	技 術	実施学年	1 年	週時数	2 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

1 学習の目標等

学習の目標	材料と加工に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、社会や環境に果たす役割と影響について適切に評価し活用する能力と態度を育成する。
使用教科書・副教材等	「技術・家庭 技術分野」開隆堂、パイン材集成材(200×1000×15)

2 学習計画及び評価方法等<6月1日現在> (カッコ内は後期履修の場合)

月	学習内容	学習のねらい	実習	評価
6月 (10月)	・ものづくりの視点と進め方	・ものづくりの技術や技術の進歩と環境との関係について関心を持たせる。	・ガイダンス ・技術室探検	・新しい発想を生み出し活用しようとしている。
6月 (11月)	・材料	・木材、金属及びプラスチックの主な特徴や材料と環境との関わりについて理解させる。		・木材、金属及びプラスチックの主な特徴や材料と環境との関わりについての知識を身に付けている。
7月 (12月)	・設計	・目的を定めて、つくりたい製作品を決め、製作図にかき表すことができるようにする。	・製作図の作成	・工具を適切に使用できるとともに、基本的な製作図をかき表すことができる。
7月 (1月)	・実習例	・製作図をもとに、材料を取り、部品加工、組立て・		・使用目的や使用条件によって機能や構造、材料や加工方法などを決定している。
9月 (2月)	・金属・プラスチックによる製作	・接合及び仕上げができるようにする。	マルチスタンドの製作	・材料と加工に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。
10月 (3月)	・材料と加工に関する技術の評価・活用	・よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用しようとする能力と態度を育てる。	・定期テスト	

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
生活や技術への 関心・意欲・態度	材料と加工に関する技術を適切に 評価し活用しようとしている。	ワークシートへの記述 ☆授業での実習の態度
生活を工夫し創 造する能力	材料と加工に関する技術を適切に 評価し活用している。	☆授業で作成した作品への工夫
生活の技能	製作図をかき、部品を加工し、組 立て及び仕上げができる。	☆授業で作成した作品の制作技能
生活や技術につ いての知識・理解	材料の特徴と使用方法及び材料に 適した加工法についての知識を身 につけている。	定期テスト

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10～11点
3	7～9点
2	5～6点
1	4点